

# コンチエルト

Concerto  
The 5th simc  
Volunteer News

第5回仙台国際音楽コンクール  
ヴァイオリン部門:2013.5.25(土)~6.9(日)  
ピアノ部門:2013.6.16(日)~6.30(日)

Vol.5-3

(2013.3.12発行 第5回コンクール関連 第3号)

## 震災とクラシック音楽

佐伯一麦

東日本大震災を経てはじめての、第5回仙台国際音楽コンクールが開催される運びとなったことを心から喜んでいる。

震災とクラシック音楽、が本稿に与えられたテーマである。そこで、同種のテーマでノルウェーを代表する世界的なピアニストのレイフ・オヴェ・アンスネスと対談で語り合ったときのことを振り返ってみることにする。

公開対談は、アンスネスの来日公演に合わせて、2011年の9月21日に東京のノルウェー大使館で行われた。

その二ヶ月前の7月22日、ノルウェーでは、死者が七十七名にも上った連続テロ事件が起こった。

私は、1997年から一年間、ノルウェーの首都オスロで暮らしたことがあり、まさかあの北欧の静かな地でテロが起こるとは、と耳を疑う心地となった。人口六十万人のオスロで開かれた追悼集会には、約十五万人の市民が繰り出して犠牲者たちを悼んだという。「テロは恐怖ですが、私たちは冷静さは失っていません」とノルウェーの友人からのメールにはあった。

大震災に見舞われた日本、そしてテロが起きたノルウェー。原因はまったく異なるが、大きな悲しみに直面したとき、芸術には何ができるか、が対談のテーマだった。

台風の直撃を受けたその日、ノルウェー大使館のホールへと足を入れたとたん、輝かしいピアノの音色に耳を惹き付けられた。ショパンのバラード第一番ト短調の終わり近く、高速な半音階上昇から一気に下降するフレーズ。アンスネスが、ピアノの試し弾きをしているところだった。対談の後に、小コンサートが予定されていたが、演奏曲目にはショパンは入っていない。翌日のコンサートで弾く曲をさらっているのだろう、と私は思った。

ピアノのチェックが終わり、控え室で、好物だという鮓弁当を食べているアンスネスと簡単な打ち合わせをした。津波のことを訊かれて答えながら、ノルウェー人が日本に寄せる関心と親しみを改めて感じた。テロの一週間ほど前にも私は、ウォルター駐日ノルウェー大使らの一行とともに、仙台市の沿岸部の被災地を訪れた。そのときにも、ノルウェーは石巻商業高校に太陽光発電パネルを贈呈したり、漁師のための漁業シンポジウムを行なう計画などを進めていると聞いて、同じ海洋国、漁業国であることに思いを向けたところだったから。

対談でアンスネスは、東日本大震災はベルリンフィルとの演奏会で滞在していたベルリンで知り、日本との強い繋がりを持つ楽団員たちが深い悲しみに包まれ、演奏曲目を鎮魂の曲に変更せざるを得ないこともあった、と話した。

そして、美しい海がときには暴威をふるうことは、ノルウェーの西海岸の島の厳しい自然環境の中で生まれ育った自分にもわかる感覚で、実際に十一歳のときに命の危険にさらされるような体験をしたという。そうしたことでも、彼の見事なグリーグの演奏に反映しているらしいことに私は気付いた。

対談のテーマに触れてアンスネスは、「9・11もニューヨークで体験し、その追悼コンサートでベートーヴェンの後期の弦楽四重奏曲が演奏される」のを聴き、人間としての葛藤や、みずからの理想との闘いのようなものを音楽に感じ、深い感銘を受けた。そして今回も、ノルウェーでの追悼コンサートも行った経験を通して、音楽が人々の再生に何らかの力になることを実感した。音楽は空気の振動だが、同じ空間にいて共に音楽を聞くということに確かな意味があると思う」と語った。

それを踏まえて、私は、「芸術は直接的に復興の役に立てるわけではないが、例えばクラシック音楽の楽譜は、決して生きていた時代が幸福とはいえない過去の音楽家たちがこした遺言、遺書のようなもので、演奏家が楽譜から解読した演奏は、その都度死者である作曲家の魂を現在に甦らせる意味合いを含むのではないか。それは過去の小説を読み、その影響のもとで小説を書く自分の仕事にも通じる」と応じた。

対談後的小コンサートでは、予定されていたブラームスのバラードをショパンのバラードに変更して演奏され、試し弾きの理由が納得された。

「内省的なブラームスを鎮魂の思いを込めて弾こうと思ったが、悲劇的な出来事が起こると、悲しみや怒りなどさまざまな感情が湧きあがってくる。それらすべてが表現されているこの曲を今日は弾こうと思う」

とアンスネスが演奏前に語った言葉通りに、曲の多彩な面を鮮やかに捉えた演奏だった。

仙台国際音楽コンクールの会場での若い演奏家たちの演奏によって、作曲家の魂が甦るさまに、聴衆の一人として同じ空間にいて、共に立ち会いたいと願っている。



アンスネスさんと佐伯一麦さん  
写真：各務あゆみ  
提供：音楽之友社  
「theミュージックセラピーvol.20」より

佐伯一麦（さえき かずみ）  
仙台市在住の小説家。私小説の書き手としても知られる。  
代表作は「ノルゲ Norge」「還れぬ家」。

～クラシック音楽にも造詣が深いことから、今回当紙にご寄稿いただきました。～

# 仙台国際音楽コンクールとは？ (SIMC～Sendai International Music Competition)

仙台国際音楽コンクールは、伊達政宗が仙台城の築城を開始し、仙台城下の屋敷割に着手した年からちょうど400年のメモリアルイヤーの2001年に開府を記念に創設された、仙台市で3年に1度開催される国際音楽コンクールです。世界の音楽文化の振興と国際的文化交流の推進に寄与することを目的とするこのコンクールから多くの才能ある若き音楽家が羽ばたき、入賞者は世界中で活躍しています。2005年から「国際音楽コンクール世界連盟」にも加盟し、その規約に従っての公正かつ信頼性の高い運営は世界的にも評価され、現在では諸外国でも世界的なコンクールとして認知されています。



2013年は第5回仙台国際音楽コンクールイヤー。5月25日(土)から6月30日(日)にかけて仙台市青年文化センターを会場として、ヴァイオリン部門ならびにピアノ部門の予備審査を勝ち抜いて世界各国から集結した若き音楽家たちによる熱き戦いが繰り広げられます。

コンクールは、ヴァイオリン部門とピアノ部分の2部門から構成され、コンチェルト(協奏曲)を課題曲の中心に据えるという大きな特色があります。演奏家としても教育者としても世界的に名高い音楽家を審査委員として迎えます。厳正かつ公正な審査はすべて公開され、両部門とともに、予選→セミファイナル→ファイナルというラウンドで進んでいきます。

ヴァイオリン部門の予選は、独奏と室内アンサンブルとの共演、ピアノ部門の予選は独奏のみとなります。セミファイナル以降は、両部門ともにバスカル・ヴェロ氏が指揮する仙台フィルハーモニー管弦楽団との共演による演奏で審査されます。ファイナルに近づくにつれ聴衆も白熱を極め、第4回のコンクールでは、期間中に約1万1000人もの聴衆が来場し、ホールに入りきれなかった聴衆はホール外のモニターで中の様子を固唾をのんでうかがうという場面もありました。

また、約300名にもおよぶ市民ボランティアによる運営サポートも仙台国際音楽コンクールの特筆すべき大きな特徴です。会場での受付、出演者の通訳やアテンド、出場者が日本文化に触れたり市民との交流の場を提供する「交流サロン」の運営、コンクールの周知や関連印刷物の作成、出場者を家庭に受け入れる「ホームステイ」など、多岐にわたる分野が市民ボランティアの力によって支えられています。こうしたボランティアの温かなホスピタリティー(おもてなし)の精神は、出場者だけでなく、審査委員からも大変好評を得ています。

コンクール開催期間中は、「審査委員によるマスタークラス」など関連する企画が多数開催されます。残念ながら次のラウンドに進めなかつた出場者による「チャレンジーズ・ライブ」、市内の小学校を訪問して演奏される「学校訪問ミニ・コンサート」、「主催者を公募して開催される出場者によるミニ・コンサート」など期間中は市内の至るところで出場者の演奏が響きわたることでしょう。

2013年の第5回コンクールは、東日本大震災後に初めて開催される特別な大会です。未来ある若き演奏家の奏でる音楽によって、たくさんのドラマと感動が生まれ、歴史に語り継がれるような復興の象徴となる素晴らしい大会となることを期待してやみません。



学校訪問ミニ・コンサートでのひとコマ

出場者を自宅に迎え、共に過ごすという体験は、他のボランティア部門には無い「人と人との深い繋がり」が得られる醍醐味があると語るKさん。広い包容力で多くの人に慕われるKさんは、ホームステイの「壁」となる言葉も開かれた心と笑顔があれば何の問題もないことを教えてくれます。ボランティアをしていて困ったことは何ですか?といふに、「困ったことがないことが困ったことだ」と豪快な笑いで答えてくれました。大震災で自宅に甚大な被害を受けたにも関わらず、若々しく前向きな行動力を使い、ご自身で資材を調達、ご夫婦で自宅を再建され、今回もどんな出場者がやってくるか楽しみにされていました。これからもKさんは「仙台のお父さん」として、出場者の心にかけがえのない思い出を刻み続けていくのでしょうか。

第4回のコンクールの際はロシア人の男性を迎えてお酒を囲んで寿司の夕食を楽しんでいると、彼は突然ヴァイオリンを持ち、Kさんご夫妻の前で30分熱演を繰り広げました。その時の素晴らしい音色は未だに忘れられないとのこと。翌日、彼は急に帰国することになり、旅行代理店の手続きが遅々として進まない中、Kさんが奮闘して無事帰国させたそうです。

仙台市若林区井土浜にお住まいのKさんはホームステイ受け入れ部門のボランティア。昭和63年、息子さんの高校にやつてきましたニュージーランドからの留学生をホームステイさせたのがきっかけで、これまで数多くの外国からのお客様を受け入れてきました。仙台国際音楽コンクールでも、これまで3人の出場者を受け持たれました。

シリーズ～素顔の出場者たち～

ホームステイ受入れ部門、ベテランボランティアに訊く

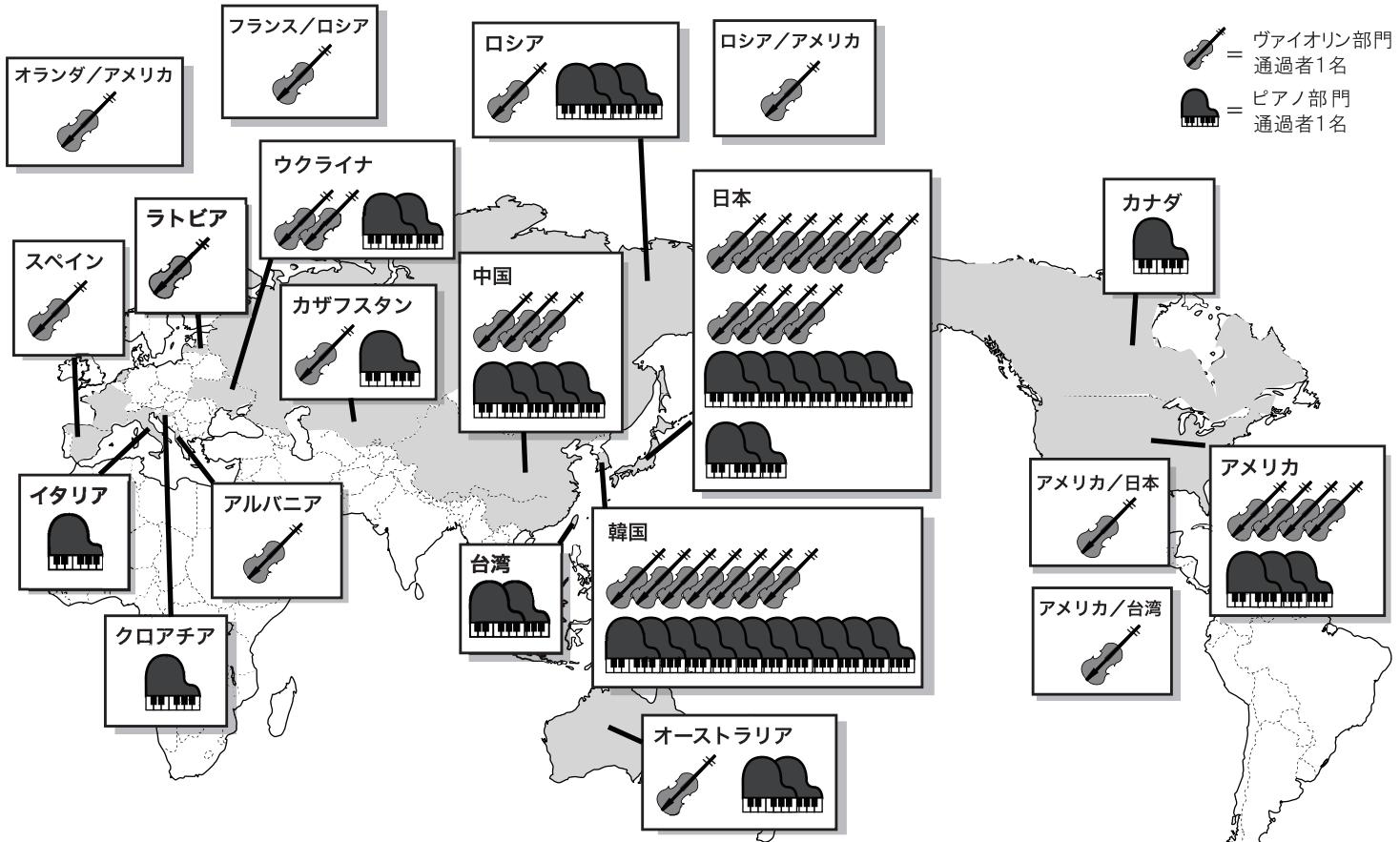
# 出場者一覧

第5回仙台国際音楽コンクールの出場者が決定しました。

今回はヴァイオリン、ピアノ両部門合わせて34の国と地域から343名の応募がありました。

予備審査を通過した出場者は、ヴァイオリン部門で14の国と地域から38名、

ピアノ部門で12の国と地域から40名となっています。合計78名が楽都仙台に集結します。



## ヴァイオリン部門出場者

1	クリスティン・バラナス	ラトビア
2	千葉 水晶	日本
3	福田 悠一郎	日本
4	フランシスコ・ガルシア・フジヤナ	スペイン
5	ウィリアム・ヘイゲン	アメリカ
6	ケン・ハマオ	アメリカ/日本
7	ハ・ファンユエ	中国
8	ジョン・ウォンヨン	韓国
9	上敷領 藍子	日本
10	キム・ボムソリ	韓国
11	ハンソル・キム	アメリカ
12	キム・ミンギョム	韓国
13	マリヤ・クラスニュク	ウクライナ
14	イ・ソヒョン	韓国
15	リ・ゼュ・ヴィクター	中国
16	リチャード・リン	アメリカ/台湾
17	松山 総留	日本
18	マルキヤン・メルニチエンコ	オーストラリア
19	宮川 奈々	日本
20	中村 太地	日本
21	成田 達輝	日本
22	レジ・ババ	アルバニア
23	パク・ゼジュン	韓国
24	イーゴリ・ビカイゼン	ロシア/アメリカ
25	ショードル・ルディン	フランス/ロシア
26	アンナ・サフキナ	ロシア
27	マリヤ・シャムシナ	ウクライナ
28	シン・スピン	韓国
29	篠原 悠那	日本
30	テ・ソニ	韓国
31	ケリー・タリム	アメリカ
32	スリマン・テカッリ	アメリカ
33	富井 ちえり	日本
34	牛草 春	日本
35	スティーヴン・ワーツ	オランダ/アメリカ
36	山田 麻実	日本
37	ユエ・グアンナン	中国
38	ガリヤ・ジャロワ	カザフスタン



## ピアノ部門出場者

1	マウレン・アリンバエフ	カザフスタン
2	ツェン・ハウン	台湾
3	レギーナ・チェルニチコ	ウクライナ
4	チョ・ソンス	韓国
5	チェ・ヒウォン	韓国
6	マクスウェル・フォスター	オーストラリア
7	後藤 絵里	日本
8	ジェームズ・グアン	オーストラリア
9	浜野 与志男	日本
10	ホン・ジファン	韓国
11	ファンティー・ジョーンズ	アメリカ
12	アリョーシャ・ユリニッチ	クロアチア
13	片田 愛理	日本
14	キム・ジョン	韓国
15	児嶋 顕一郎	日本
16	イ・ジュンヨン	韓国
17	リン・クアンティン	台湾
18	ル・ツエンナ	中国
19	水谷 桃子	日本
20	ムン・ジンホ	韓国
21	仁田原 祐	日本
22	野上 真梨子	日本
23	パク・サンウ	韓国
24	ソナ・パク	アメリカ
25	ルーカス・ポーター	カナダ
26	阪田 知樹	日本
27	シビオーネ・サンジョヴァンニ	イタリア
28	クリストファー・シュミット	アメリカ
29	ヴィアチェスラフ・シェレポフ	ロシア
30	菅原 望	日本
31	ソ・ヒヨンミン	韓国
32	ソヌ・イエゴン	韓国
33	アレクセイ・スィチエフ	ロシア
34	ウェイ・ユン	中国
35	ウォン・ジョンホ	韓国
36	ウォン・ジェヨン	韓国
37	ウ・ユッポン	中国
38	アルテヨム・ヤスインスキイ	ウクライナ
39	ヅ・ハウ	中国
40	ナジェジュダ・ズインゲル	ロシア

(掲載は姓のアルファベット順)

## コンクール審査日程と料金

	ヴァイオリン部門	ピアノ部門	時間	座席	料金 (仙台市民文化事業団 友の会料金)
<b>予選</b> ヴァイオリン38名 ピアノ40名	5月25日(土) 26日(日) 27日(月) 独奏及び 室内アンサンブルと共に演	6月16日(日) 17日(月) 18日(火) 独奏	10:00~	全席自由 (日付指定)	1,000円 (900円)
<b>セミファイナル</b> 各部門12名以内	6月1日(土) 2日(日) 3日(月) オーケストラと共に演	6月22日(土) 23日(日) 24日(月) オーケストラと共に演	14:00~	全席指定	S席 3,000円 (2,700円) A席 2,000円 (1,800円)
<b>ファイナル</b> 各部門6名以内	6月7日(金) 8日(土) オーケストラと共に演	6月28日(金) 29日(土) オーケストラと共に演	18:30~ 15:00~	全席指定	S席 3,000円 (2,700円) A席 2,000円 (1,800円)
<b>入賞者記念ガラコンサート</b> 各部門1位から3位	6月9日(日) オーケストラと共に演	6月30日(日) オーケストラと共に演	14:00~	全席指定	S席 4,000円 (3,600円) A席 3,000円 (2,700円)

※未就学児のご入場はお断りいたします。 ※開場は開演時間の30分前です。  
※開演、終演時間は出場者の人数等により変更となる場合がございます。

### チケット発売中！

#### 【プレイガイド】

##### ■ローソンチケット

Lコード ヴァイオリン部門23001 ピアノ部門23002  
電話予約 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00~20:00)  
0570-084-002 (自動音声24時間)

WEB <http://l-tike.com/>

窓口 ローソン各店、ミニストップ各店

##### ■チケットぴあ Pコード189-379 (両部門共通)

電話予約 0570-02-9999 (自動音声24時間)

窓口 全国のチケットぴあ (藤崎、エスパル、イービーンズ、八文字屋書店泉店 他)  
セブン-イレブン各店、サークルK・サンクス各店

WEB <http://t.pia.jp/>

##### ■仙台三越

■仙台市青年文化センター (1階事務室)

■イズミティ21 (1階事務室)

■仙台国際音楽コンクール公式ホームページ URL: <http://www.simc.jp/>

### ♪編集後記♪

今年は、例年より厳しい寒さが続いているのですが、後、数週間耐えれば、桜の便りとコンクールの話題も聞こえてくると思います。

春よ来い、早く来い (清)

コンクールまで、2ヶ月しかない。焦りはピークに達してきました。後悔しないよう突き進むのみです (岡)

震災後に仙台に移り住んだ私にとって  
は初めての仙台国際音楽コンクール。  
希望と期待で胸が膨らむばかりです！  
(Kuri)

長く一緒にやってきたMさん掛けがで  
しばらく戦線離脱。プレッシャーを感じつつ、心強い新メンバーサン達と若い仲間達とで何とか前に進めそう…。  
それでもMさんの一日も早い復帰を心から願う。(吾)

コンクールをはじめ、行きたい公演  
のチケット代で財布が氷河期。でも  
心はほかほかです。(川)

出場者が決定しました！事務局も緊張感いっぱいの毎日です。皆様の応援よろしくお願ひいたします。(戸)

皆さんのアイディアが集まったコンチ  
ェルト。事務局でも毎号できあがる  
のを楽しみしております。(松)

### 発行: 第5回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

問合せ: 仙台市民文化事業団コンクール推進課(仙台国際音楽コンクール事務局) Tel: 022-727-1872 / e-mail: [info@simc.jp](mailto:info@simc.jp) / URL: <http://www.simc.jp/>